

あなたにそして自分にも

# どんまいどんまい



## 自分に言い訳の逃げ場 を作らず、突き進む！

今日は天気がいいなあ♪  
朝の日差しがまぶしくて、  
目が開けられない(^0^)/



山形新聞の堺屋太一さんの「三人の二代目」という小説を毎朝、楽しみにして、読んでいる武田英昭です。

上杉景勝と毛利輝元と宇喜田秀家の二代目達の考え方や生き方にさまざまな歴史上の人物がからんで来て、どんなテレビドラマよりも楽しく、ワクワクしながら読んでいます。

その中でも特に上杉景勝に影響を与えた上杉謙信の「儀」を貫く生き方には感動さえ覚えます。

**上杉謙信は戦場に向かう時は、**

**「生きて帰って来たいと思って向かうと帰ってこれず、我が身を捨てて死ぬ気で向かうと生きて帰ってこれる」と教えています。**

**私には、商売は儲けようとして仕事すると儲けられず、自分の利益よりも御客様の事を考えて仕事すると、いつの間にか儲かっているものだと教えてくれているように思われます。**

「どんまい どんまい」

他の月の「どんまい どんまい」を見逃した方は**㈱タケダのホームページからぜひ御覧下さい。**

失敗した時、がっかりした時、つらい思いをした時、落ち込まず再チャレンジ出来る様にとの思いで、あなたと私の心のかけ橋レターを送ります。毎月1回発行 発行編集責任者 武田英昭 ㈱タケダ 山形県山形市あかねヶ丘 3-18-1 電話：023-644-5633 FAX：023-644-5663

メール：[takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp](mailto:takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp)

ホームページ URL：<http://www.k-takeda.net/>

ネットショップ：<http://www.k-takeda.net/shop/>

ブログサイト：<http://donmai55.seesaa.net/>

## ケージーパルテック(株) さんとは長い付き合い！

㈱タケダさんとは  
30年以上に  
なりますね〜♪



ノンスリップやVレールのケージーパルテック(株)の寺西営業本部長が大阪から来社されました。寺西様からのメールを御紹介します。

「いつもお世話になっております。先日の出張の折には、就業間もない朝の一番お忙しい時間帯にお伺いしたにも拘わらず、色々とお話をお聞かせいただき有り難う御座いました。

**なかでも今回の国の重要文化財への金物納入のいきさつの中で、始めから「出来ません・分りません」と言ってしまうと、そこから前へ進めない等々のお話をお聞きし、一メーカーの営業員として商売の原点に立ち返えられた思いを致しました。**

武田社長の仕事への姿勢に深く感銘いたしました。建築金物メーカーとして㈱タケダ様と共に成長していただける事を心より願っております。

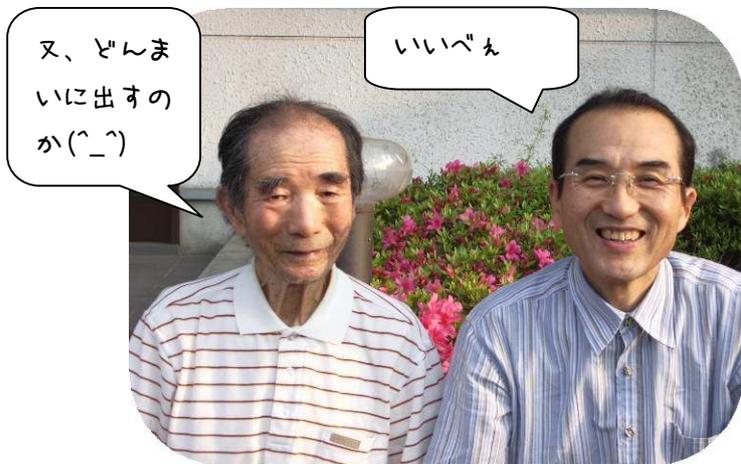
ケージーパルテック(株)営業総本部 寺西」

寺西本部長様、わざわざ大阪から来社して頂き、さらにうれしいメールまで頂き本当に有難うございます。

これからも、宜しく願います。

㈱タケダ 武田英昭

# 肺癌の手術も無事成功！驚く回復力！



**5月31日**に私の父親で㈱タケダの会長が肺癌の摘出手術をしました。

ちょうど一年前に胃癌の摘出手術と直腸癌の切除手術をした際は、悪性の癌だったので転移しているはずだと先生に言われていました。

しかし、その後の腫瘍マーカーやCTやエコー検査等で癌細胞の確認が取れなかったので、転移していなかったかもしれないとさえ思われました。しかし、それから1年過ぎて、肺に転移している事がわかりました。

**86歳と高齢なのに癌細胞の成長が早いので、抗癌剤を勧められました。が抗癌剤の副作用の酷さをまざまざと見ていたので抗癌剤は拒否しました。そして済生病院で「ペットCT」の検査を受けて体の中で他に転移している癌がないか調べてもらう事にしました。**

その結果、肺癌以外には転移が見つかりませんでした。

高齢の肺癌の切除手術はかなり危険で、さらに去年の胃癌の手術中に肺炎になった事もあり、今回

はその右側の肺の下三分の一を切除する手術なので先生もかなり悩まれていました。

でも私はこの選択が一番いいと思い手術を御願いました。

朝一番の手術で何もなければ、昼頃までには終了するとの事でした。

ところが、予定の時間がとっくに過ぎても手術の終了の知らせがなく、午後3時になっても何の連絡も有りませんでした。

手術開始から6時間経っても何の連絡もないので、だんだん不安になり座っていられず立ってうろろするばかりでした。

それからしばらくして呼び出され、手術室に入れてもらい、主治医の先生より切除した肺と癌を見せてもらいました。

**先生の話では予定の倍も時間が掛かったのは、肺の癒着がひどく、その癒着をはがすのにかなり予定外の時間がかかってしまったそうです。癒着が進むとだんだん肺が小さくなり呼吸が浅くなり肺活量がなくなっていくそうです。**

普段私達が普通にしている呼吸だけでは肺の上半分しか酸素の入れ替わりがなく肺の下半分は古い酸素が滞留してしまっているそうです。

肺をしっかり機能させるには、肺の下半分に滞留している古い酸素も全部出し切る程、息を吐き出して、その後大きく深呼吸をする事で新鮮な酸素を充満出来るようです。

**手術は肺の癒着がひどく大変でしたが、手術後の回復力が驚くほど速く、手術の翌日には食事をとり歩き出したそうです。**

**そして1週間後の6月7日には退院してしまいました。**

**この回復力には先生も驚いていました。**

退院して間もなく二人で並んで写真を撮りました。肺癌の手術をしたなんて思えないですね。

“どんまい どんまい”を読んでいかがだったでしょうか。「あなた」の感想をお聞かせ下さい。

電話 023-644-5633

FAX 023-644-5663

Eメール [takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp](mailto:takeda02-ht@yamagata.email.ne.jp)

武田英昭までお願いします。  
どんな事でもいいです。  
是非ともおねがいします。

待ってま〜す。

